

富山県における 2020 年度のウイルスおよびリケッチア検出状況

板持 雅恵 稲崎 倫子 畠田 嵩久 佐賀由美子
五十嵐笑子 長谷川澄代 谷 英樹

Viruses and Rickettsiae Detected from Specimens of Patients in Toyama Prefecture in the Fiscal Year 2020

Masae ITAMOCHI, Noriko INASAKI, Takahisa SHIMADA, Yumiko SAGA,
Emiko IGARASHI, Sumiyo HASEGAWA, and Hideki TANI

目的: 富山県衛生研究所ウイルス部では、感染症発生動向調査や行政依頼検査など、種々の目的によって検査を行っている。ここでは、2020 年度に検出されたウイルスおよびリケッチアの検査の概要を報告する。

方法: 検査は、検体の種類や状態に応じて、常法に従い実施した。

2020 年 4 月から 2021 年 3 月までに受け付けた被検者は延べ 11,467 例、検体別では糞便（直腸拭い液を含む）45、鼻咽頭または鼻腔拭い液 7,751、喀痰または気管吸引液 24、唾液 3,929、髄液 14、尿 14、血液（全血、血漿、血清、末梢血単核球、パフィーコートなど）26、痂皮 1 の計 11,804 件であった。

結果および考察: 被検者 11,467 例中 820 例からウイルスあるいはリケッチアが検出された。以上の成績を臨床診断名別、患者別に表 1 に示し、若干の解説を加えた。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19): 2020 年 4 月～2021 年 3 月に計 11,347 例（咽頭または鼻腔拭い液 7,674、唾液 3,900、喀痰 24）の検査を行ったところ、756 症例から新型コロナウイルスが検出された。

新型コロナウイルス変異検査: 2021 年 1～3 月に県内医療機関や当所における新型コロナウイルス検査により陽性となった症例のうち、57 症例（鼻咽頭拭い液または鼻腔拭い液 40、唾液 17）について N501Y 変異検査を行った。その結果、3 月の 10 症例に N501Y 変異がみられた。N501Y 変異のみられた症例のうち 9 症例について国立感染症研究所に検体 RNA を送付し、ゲノム解析を依頼したところ、9 症例すべて B.1.1.7

（アルファ株）と判定された。

インフルエンザおよびインフルエンザ様疾患・呼吸器疾患: 県内の医療機関を受診した患者 4 症例（鼻咽頭または鼻腔拭い液 4、血清 1、髄液 1、糞便 2、尿 2）について検査を行ったが、インフルエンザウイルスは検出されなかった。インフルエンザウイルス以外では、10 月に 1 症例からライノウイルスが検出された。

脳炎・脳症: 計 5 症例（髄液 4、血清 3、糞便 3、鼻咽頭または鼻腔拭い液 5、尿 3）の検査を行ったところ、1 症例の血清からヒトヘルペスウイルス 6 型が検出された。

無菌性髄膜炎: 6 症例（髄液 6、血清 4、糞便 3、鼻咽頭または鼻腔拭い液 5、尿 3）の検査を行ったが、ウイルスは検出されなかった。

急性弛緩性麻痺: 1 症例（髄液 1、血清 1、糞便 1、咽頭拭い液 1）の検査を行ったが、ポリオウイルスを含むエンテロウイルスは検出されなかった。

感染性胃腸炎: 集団発生事例では、食中毒および有症苦情事例を含む 5 事例（29 名、糞便 29）について検査を行ったところ、9 月に 1 事例 2 名からノロウイルス GII が検出された。集団発生事例は、月別では、6 月に 1 事例、9 月に 3 事例、3 月に 1 事例それぞれ発生した。

散発例では、小児科医療機関に受診された計 2 症例（糞便 2）について検査を行ったが、ウイルスは検出されなかった。

麻疹: 麻疹疑い例として検査依頼を受けた 3 症例（咽頭拭い液 3、血漿 3、末梢血単核球 3、尿 3）の検査を行ったが、麻疹ウイルスおよび風疹ウイルスは検出されなかった。

風疹: 先天性風疹症候群を疑われた 1 症例（咽頭拭い液 1、血漿または血清 1、尿 1）の検査を行ったが、風疹ウイルスは検出されなかった。

表 1. 2020 年度 疾患別、月別ウイルスおよびリケッチア検出状況

臨床診断名	検出病原体	2020年					2021年									合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
インフルエンザ・	(被検者数)						1	1	1		1			4		
インフルエンザ様疾患	ライノ							1						1		
新型コロナウイルス	(被検者数) ^a	1,760	999	162	321	1,562	537	278	621	1,651	2,673	481	302	11,347		
感染症(COVID-19)	新型コロナ ^a	255	123	4	16	111	18	3	18	43	144	7	14	756		
新型コロナウイルス	(被検者数)										19	4	34	57		
変異検査	N501Y変異あり												10	10		
	N501Y変異なし										19	4	18	41		
	判定不能												6	6		
脳炎・脳症	(被検者数)				1	1			2			1		5		
	ヒトヘルペス6型								1					1		
無菌性髄膜炎	(被検者数)			1		1	2	1		1				6		
	－													0		
急性弛緩性麻痺	(被検者数)												1	1		
	－													0		
感染性胃腸炎(集団)	(被検者数)			4			19						6	29		
	ノロGII ^b						2							2		
感染性胃腸炎(散発)	(被検者数)									1			1	2		
	－													0		
麻疹	(被検者数)		1					1					1	3		
	－													0		
風疹	(被検者数)						1							1		
	－													0		
つつが虫病	(被検者数)		1					1	1					3		
(SFTS ^c 、日本紅斑熱疑い含む)	つつが虫病リケッチア								1					1		
A型肝炎	(被検者数)		1	1	1				1					4		
	A型肝炎		1	1										2		
デング熱	(被検者数)											1		1		
	－													0		
その他 ^d	(被検者数)				1		2					1		4		
	－													0		
症例合計	(被検者数)	1,760	1,002	168	324	1,564	562	282	626	1,653	2,693	488	345	11,467		
	病原体検出者数	255	124	5	16	111	20	4	20	43	163	11	48	820		

■, 灰色の影で記した数は、無症状の施設関係者及び接触者を含む。

a. のべ被検者数(以前検査した症例の再検査は、複数症例として計上した)。

b. ノロGII: ノロウイルスGenogroup II.

c. SFTS: 重症熱性血小板減少症候群

d. その他: 7月および9月の計2症例はパレコウイルス感染症疑い。9月および2月の計2症例はライム病疑い。

月別被検者数は、検体採取日をもとに集計した。

つつが虫病〔重症熱性血小板減少症候群(SFTS), 日本紅斑熱疑い含む〕: 計3症例(全血1, 血漿または血清3, バフィーコート1, 痂皮1)の検査を行ったところ, 1症例の血液および痂皮からつつが虫病リケッチアKawasaki型が検出された。

A型肝炎: 5月, 6月, 7月, 11月に計4症例(糞便4)の検査を行ったところ, 5~6月の2症例からA型肝炎ウイルスが検出された。また, これらの症例に関連して7~11月に井戸水または水道水4件の検査を行ったが, A型肝炎ウイルスは検出されなかった。

デング熱: 2月に1症例(血漿1, 末梢血単核球1, 尿1)の検査を行ったが, ウイルスは検出

されなかった。

その他: 7月および9月にパレコウイルス感染症疑い計2症例(糞便2, 咽頭拭い液2, 血清2, 尿1)の検査を行ったが, ウイルスは検出されなかった。また, 9月および2月にライム病疑い計2症例(髄液2)の検査を行ったが, ライム病ボレリアは検出されなかった。

謝辞: ウイルス検査は結果が判明するまでに時間がかかるが, 今後の感染症の発生動向を知るうえで貴重な資料となる。ご多忙の中でご理解, ご協力をいただいた多くの医療機関および防疫機関の関係各位に深くお礼申し上げます。